

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1277500151
法人名	有限会社 いすみ福祉サービス
事業所名	グループホーム 菜の花
訪問調査日	平成 20年 5月 22日
評価確定日	平成 20年 6月 9日
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 5月 30日

【評価実施概要】

事業所番号	1277500151
法人名	有限会社 いすみ福祉サービス
事業所名	グループホーム 菜の花
所在地	千葉県いすみ市深堀1762-1 (電話) 0470-62-0303

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	2008/5/22	評価確定日	6月9日

【情報提供票より】(平成20年 5月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	10 人	常勤	6人, 非常勤 4人, 常勤換算 9人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2 階建ての	1~2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有() 円) ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	○有) 160,000 円)	有りの場合 償却の有無	○有) 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500 円			

(4) 利用者の概要(5月 1日現在)

利用者人数	5 名	男性	4 名	女性	1 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	1 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 69.4 歳	最低	62 歳	最高	78 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大多喜病院、白井歯科、国保国吉病院
---------	-------------------

株式会社 日本ビジネスシステム

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑の多い閑静な住宅街に「グループホーム 菜の花」がある。木造2階建ての民家改修型であるが、民宿として使われていた建物であり、一般民家よりもゆったりとした作りになっている。各居室も窓が大きく、明るくて風通しが良い。広い庭では、入居者が庭仕事や縁台での日光浴を楽しみ、とても開放的で明るい雰囲気となっている。また、海が近いので海岸を散歩する事も多い。職員は、入居者を介護するという気持ちではなく、共に生活するという意識を強く持っている。入居者とのコミュニケーションを大切に、沢山話をする事を心がけて、入居者と共に一つの家族となれるよう、家庭的な環境で一人ひとりに合わせた温かい支援を行っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で指摘された改善点は、職員で話し合い適切な改善がなされている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は管理者が、職員と話し合い作成しており、職員は外部評価の意義を理解している。改善すべき点は、職員で話し合い速やかに改善を行い、評価を活かしたサービスの向上に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 移転の予定がある為、市役所の了承を得た上で、現在は行われていない。移転後に市職員、地域民生委員と共に開催する予定になっている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族との信頼関係を築き、家族が意見を言い易い環境作りに努め、面会時に直接要望等を確認している。意見や要望があった場合は、職員だけでなく家族と共に話し合い、適切な対応を図っている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 祭りや海岸清掃等の地域活動へ積極的に参加し、ボランティアの受け入れも行っている。散歩時や近隣の掃除、ゴミ出し等の際、近隣住民と挨拶を交わす関係が築かれており、ご好意でおすそ分けを頂く事もあり日常生活の中でも多くの交流を持っている。また、地域住民からの介護相談も受けており、介護知識を活かして地域貢献に努めている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人ひとりの尊厳を大切に」を主眼とした独自の理念を掲げている。入居者が家庭的環境の中で自分らしく暮らせるように、職員全員が理念に基づいたサービスの提供に努めている。		日頃から地域との交流を図り協力を得ているが、独自の理念や方針に地域密着型サービスとしての役割を目指した内容を付加し、地域との関係性のさらなる強化を目指して頂くことを期待します。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内に理念が掲示されていると共に、入職時の研修やミーティング等において理念の確認が行われ、周知徹底されている。職員全員が理念を意識しながら日々の支援を行っている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	祭りや海岸清掃等の地域活動へ積極的に参加し、ボランティアの受入れも行っている。散歩時や近隣の掃除、ゴミ出し等の際、近隣住民と挨拶を交わす関係が築かれており、ご好意でおすそ分けを頂く事もあり日常生活の中でも多くの交流を持っている。また、地域住民からの介護相談も受けており、介護知識を活かして地域貢献に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は管理者が、職員と話し合い作成しており、職員は外部評価の意義を理解している。改善すべき点は、職員で話し合い速やかに改善を行い、評価を活かしたサービスの向上に取り組んでいる。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	移転の予定がある為、市役所の上承を得た上で、現在は行われていない。移転後に市職員、地域民生委員と共に開催する予定になっている。		

【千葉県】グループホーム菜の花

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者で連絡を取り合い、施設運営全般に関する相談等を随時行っている。また、市の開催する(多くの)研修に積極的に参加し、サービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時や電話にて入居者の生活状況や金銭管理等の報告を行っている。時には、家族を訪問したり、入居者の写真を渡す等し、詳細に報告がなされている。また、生活状況に変化のあった場合や病院に受診した場合には随時報告を行っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との信頼関係を築き、家族が意見を言い易い環境作りに努め、面会時に直接要望等を確認している。意見や要望があった場合は、職員だけでなく家族と共に話し合い、適切な対応を図っている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職者があった場合は、家族へ報告を行っている。また、入職時には入居者と会話する機会を多く持ち、自然に馴染める環境作りがなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修においては、研修案内を掲示し参加を募っている。研修参加後は報告会を行うと共に資料を配布し、情報の共有を図っている。職員からは、スキルアップや学びに対する意欲が感じられる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム連絡会に定期的に参加し、情報交換や勉強会を行っている。また、相互の施設見学会も行われ、相互の優れた部分を取り入れながら、サービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気などに徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の見学や面接を実施しており、本人や家族の状況や意向を把握している。入居後は、職員が付いて本人の生活暦やペースに合わせた対応を心がけ、出来るだけ早く馴染み安心して生活ができるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、介護ではなく「共に生活する」という意識を持ち、入居者の希望や能力に応じて、家事等の生活活動を共同で行っている。また、職員は日々の生活の中で、人生の先輩として敬い、生活の知恵やコツを学び、共に支えあう関係を築いている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に本人や家族から、意向や身体状況等を確認している。また、日々の生活での会話や職員の気付きにて本人の意向を汲み取り、その人らしい生活を支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画においては、職員・本人・家族と話し合いを行い、本人や家族の意向等を踏まえた上で、計画作成担当者が作成している。作成後は申し送り等で周知をし、その人に合ったサービスの提供に努めている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回計画の見直しを行っている。また、生活状況に変化があった場合や必要であると判断された場合は、その都度見直しを行っている。介護計画においては、職員・本人・家族と話し合い、本人や家族の意向等を踏まえた上で計画作成担当者が作成をしている。作成後は申し送り等で周知をし、その人に合ったサービスの提供に努めている。		

【千葉県】グループホーム菜の花

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院への通院支援、入院時にはお見舞いや医師との情報交換を行い、早期退院に向けた支援を行っている。また、お墓参りや買い物等、入居者の希望に応えるよう柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院以外にも、希望のかかりつけ医への受診が可能となっていると共に、必要に応じて医師による往診も行っている。また、職員の看護師と協力しながら、状況に応じた適切な対応がなされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期においての方針は掲げていないが、入居後に家族や本人の意向を聞いている。重度化した場合や終末期には、家族や医師と相談しながら、出来るだけ本人や家族の意向に沿って、施設として出来る最大限の支援を行っている。		重度化や終末期に向けた事業所の方針を確立した上で明文化し、最大限の支援が出来る体制作りをしていただく事を期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の書類等については事務所に保管し、個人情報の保護を図っている。職員は入居者への言葉遣いに気を配り、プライバシーを損ねないよう配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日課の取り決めは無く、本人のペースで自由に過してもらい、必要に応じて見守り等を行っている。希望を言い出せない入居者に対しては、日々の会話や表情から汲み取り、個々に合わせた柔軟な支援を行っている。		

【千葉県】グループホーム菜の花

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片付けを、希望や能力に応じて共同で行うと共に、食材の買い物や献立の相談等も一緒に行っている。旬の物を取り入れて季節感を大切に、職員と入居者が食卓を共にして食事を楽しんでいる。また、定期的に外食会を実施して食の楽しみを支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は本人の希望や状況に応じて、回数や時間等柔軟に対応している。現在のところ入浴の拒否はないが、拒否があった場合は、声掛け等を工夫して無理強いないで適切な対応をするよう職員に教育をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の希望や能力に応じて、家事、庭仕事、季節の飾付け等の生活活動を共同で行っている。定期的な外出会や食事会、誕生日会等を実施し、入居者の楽しみを支援している。また、中庭に設置された縁台にて、近隣住民を交えながら、お茶飲みや談話する等憩いの時間を過ごしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に応じて、散歩や買い物等の外出を支援している。また、お祭りや花火大会、X'masイルミネーションの見物等、季節行事への外出支援も行われ、入居者の大きな楽しみとなっている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠は行っておらず、入居者の自由な生活を支援している。入居者が外に出た場合は、言葉かけや見守りで柔軟に対応している。また、地域住民も言葉かけに協力してくれている。居室の鍵は設置されていないが、職員は入居者のプライバシーに配慮している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、夜間想定も含めた消防・避難訓練を実施している。職員は心肺蘇生の研修を受けている。また、災害時における水の備蓄はされており、近隣住民との協力体制も築いている。		

【千葉県】グループホーム菜の花

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の嗜好や能力に合わせた、適切な食事提供がなされていると共に、食事や水分摂取の記録もきちんと行われている。摂取量が少ない場合は、本人の好みの物や間食等に対応し、必要な栄養の確保に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一般住宅の為最低限の段差はあるが、適切に手摺りが設置され、階段も緩やかに改築されており、安全面には十分な配慮がなされている。共有スペースには入居者の作品や写真が掲示されると共に、季節の飾り付けがなされ、明るく楽しい雰囲気工夫されている。また、広い庭は緑が多く、庭仕事や日光浴等入居者が思い思いに過せる開放的なスペースとなっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	希望により、馴染みの物を自由に持ち込む事が可能となっており、入居者が居心地良く生活できるよう配慮されている。全居室にエアコンが設置されているが、風通しの良い環境を活かし、エアコンをなるべく使わないように工夫している。		